

- ① 認知症とは、どのような病気なのでしょうか .....2
- ② 加齢によるもの忘れと認知症の違い .....3
  - 家族が見つけた「認知症」早期発見のめやす .....3
  - 認知症の予防 .....4
- ③ 本人の気持ち、家族の気持ち .....5
- ④ 認知症はどのような病気？ .....6
  - 認知症の症状1（認知機能障害） .....6
  - 認知症の症状2（行動・心理症状） .....7
  - 主な病気の種類と症状 .....7
    - アルツハイマー型認知症 .....7
    - 脳血管性認知症 .....8
    - レビー小体型認知症 .....8
    - 前頭側頭型認知症 .....9
- ⑤ 認知症の治療 .....10
  - 薬による治療 .....10
    - 認知機能障害に対して .....10
    - 行動・心理症状に対して .....10
  - 薬を使わない治療 .....11
- ⑥ 忘れてはいけない「身体の健康」 .....12
  - こんなことがありました .....12
  - ほかにも身体の健康がいろいろなことに影響しています .....12
  - 健康状態を医師に伝えましょう .....12
- ⑦ できることはたくさんあります .....13
  - 仲間が欲しい 誰かの役に立ちたい .....13
  - 長年の特技は発揮できる .....13
  - 失った能力に目を向けるのではなく、今ある能力に目を向けてみてください .....13
  - 可能性をあきらめないで .....13
- ⑧ もうひとつの大切なこと「あなたの気持ち」 .....14
- ⑨ 認知症の人を職場で支えるための配慮について .....15
  - みなさんの職場が誰にとってもわかりやすく、安心できる場所であるために .....15
- ⑩ 若年認知症について .....17
  - 若年認知症とは .....17
  - 早期発見が大切な理由 .....18
  - 本人とその家族への支援や理解 .....19
- ⑪ 若年認知症の人を職場で支えるための配慮について .....21
  - サポート1 .....21
  - サポート2 .....22
  - サポート3 .....23
  - サポート4 .....24
  - サポート5 .....25
  - サポート6 .....26
  - サポート7 .....27
  - サポート8 .....28
- ⑫ 認知症の方などの行方がわからなくなったときには .....30



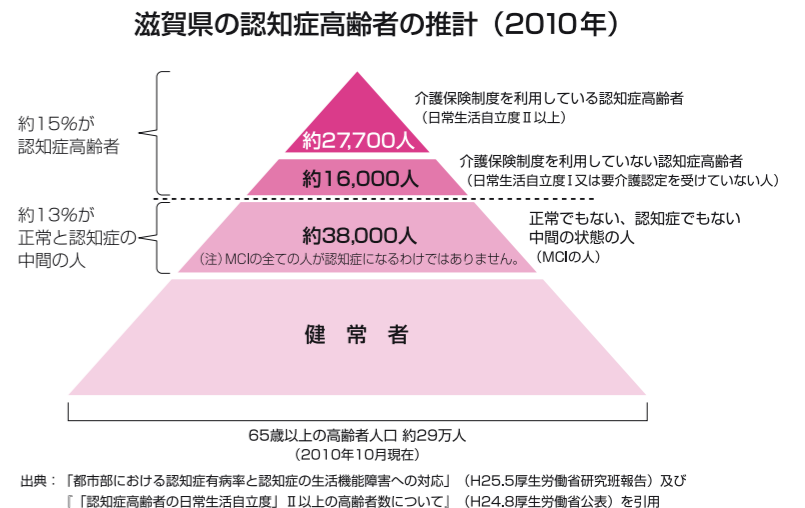
# 認知症とは、 どのような病気なのでしょうか

もちろん、認知症にならないにこしたことはないのですが、高齢化とともに、認知症の発病率は高くなってきています。そこで、万が一、認知症と診断されたとしても、早めに適切な治療と、本人の気持ちを大切にしたり関わりを受け、仲間の存在にも助けられて、少しでも穏やかに落ち着いた生活を送ることができればと考えます。

人間の脳は、子供から成人へと成長するにつれて発達し、いろいろな機能を発揮するようになります。やがて年をとり、身体機能の衰えとともに、もの忘れも生じるようになります。とても自然なことのように思えますが、認知症は、そんな「加齢現象」とは違うものです。

認知症とは、何らかの原因で脳の神経細胞が壊され、それによって記憶力などの知的能力が低下していく病気です。高齢者だけでなく、原因によっては若い世代にも起こりうる病気です。

■ 65歳以上の高齢者の約15%が認知症と推計されています。



ポイント

## 原因を正しく知る

認知症には、「原因となる病気」があり、認知症特有の「出来事自体を忘れる」「時間や場所がわからない」などという症状となって現れてきます。

原因は一つではなく、ご本人からの訴えは似ていたとしても、それらを引き起こす原因はさまざまであり、治療やかかわり方も違うのです。まず原因を正しく知ることが、認知症への理解の第一歩でしょう。

